

USB



MA-FP74U

指紋認証マウス

最初に
ご確認ください。

セ
レ
ク
ト
内
容

- 指紋認証マウス本体 1台
- ドライバ&指紋認証ソフト「バイオガード」(Windows用CD) 1枚
- 取扱説明書 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2003.7現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町16-7カジャビル1F ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒535-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-6078
金沢 / ☎076-222-8384

www.sanwa.co.jp/

休日(土・日・祝日)サポート
夜間(18:00~翌9:00)サポート ☎03-5389-7078

03/07/PWNC

もくじ

はじめに	2	■「設定」タブ	19
対応機種	2	■「ログの参照」タブ	20
接続する前に必ずお読みください	2	■「データベース」タブ	20
■本製品をUSBポートに接続する際の注意	2	■「情報」タブ	20
■BIOS上でUSBがdisableになっている場合	2	認証について	21
マウスドライバのインストール	3	Windowsログオン	21
■Windows XPの場合	3	スクリーンセーバー	22
■Windows 2000の場合	4	ファイルセキュリティ	23
■Windows Meの場合	6	■暗号化の方法(同じ場所で暗号化)	23
■Windows 98 SEの場合	7	■暗号化の方法(指定した場所で暗号化)	23
「バイオガード」のインストール	9	■復号化の方法(同じ場所で復号化)	24
■指紋を登録する際に	11	■復号化の方法(指定した場所へ復号化)	24
「バイオガード」機能一覧	13	■暗号化したファイルを直接開く	25
「バイオガード」の使い方	14	■グループ暗号化/復号化の方法	25
■ユーザーの新規登録	14	■グループ暗号化の応用	25
■ユーザーの登録データ変更	16	「バイオガード」のアンインストール	26
■ユーザーの削除	16	タスクトレイアイコンの機能	27
■グループについて	17	■パソコン使用時間の制限	27
■パソコン使用時間の制限	18	FAQ	29

警告

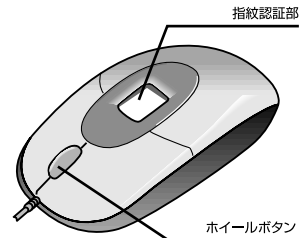
■テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生を防止して

はじめに

このたびは、指紋認証マウスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を使うと、指紋で個人を識別し、パソコン上のセキュリティを強化することができます。

また、ホイールボタンを回転・クリックさせるだけでWindows上で簡単に画面スクロール等をおこなうことができます。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。



対応機種

本製品には、下記のハードウェア、またはソフトウェア以上のものをご使用ください。

- Windows搭載パソコン(各社DOS/パソコン) ※USBポートを持つ機種
- 対応OS:Windows XP・2000・Me・98SE
- SVGA(800×600)以上の解像度を推奨
- メモリの空き容量: 64MB以上
- ハードディスクの空き容量: 8MB以上
- CD-ROMドライブ

接続する前に必ずお読みください

■本製品をUSBポートに接続する際の注意

本製品はWindowsで自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下の様な画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が無効に設定されている機種もあります。

※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のペンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。

■BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenable(イネーブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。



マウスドライバのインストール

まず、本製品用のドライバ(CMOS FingerPrint Reader)をインストールします。ドライバをインストールしていないと、認証用ソフトウェア「バイオガード」をインストールできません。本製品を接続していない状態もしくはドライバがインストールされていない状態で「バイオガード」をインストールしようとすると、右のメッセージが出ます。

Windowsのバージョンによってインストールの方法が異なりますので、お客様の環境に合わせてインストールしてください。詳しくは以下をご覧ください。

■ Windows XPの場合

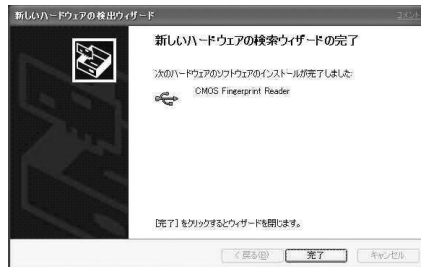
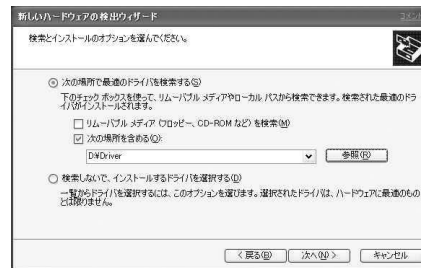
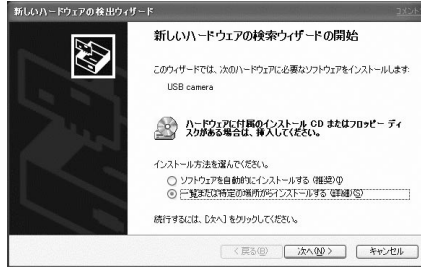
- 1.パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2.本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ差し込みます。
- 3.新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されますので、「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ>」をクリックします(本製品の場合、右記USB CameraはUSBデバイスと表示されます)。

- 4.付属CD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。「次の場所 で最適なドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」をチェックして、「参照」をクリックします。
- 5.CD-ROMドライブのD:¥Driverディレクトリを選択して、「次へ>」をクリックします(DドライブがCD-ROMドライブの場合)。

※インストール中に下記のメッセージが表示される場合がありますが、「続行」をクリックしてインストールを継続してください。
「このハードウェア:
CMOS FingerPrint Reader
を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換を検証するWindowsロゴテストに合格していません。」

- 6.Windowsが“CMOS FingerPrint Reader”と認識しますので、「完了」をクリックして、インストールを完了します。

※本製品を認識しない場合は、パソコンのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そして、マイコンピュータープロパティ→デバイスマネージャ→USBコントローラの中 の「CMOS FingerPrint Reader」に「！」マークがついていないかどうかを確認してください。



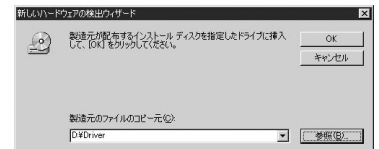
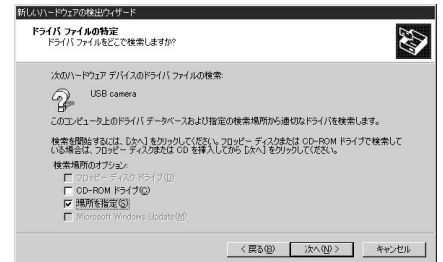
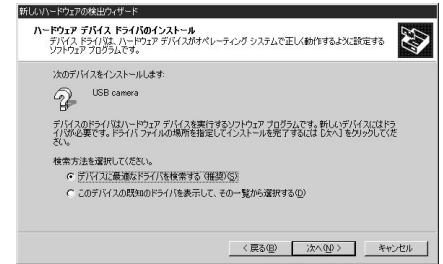
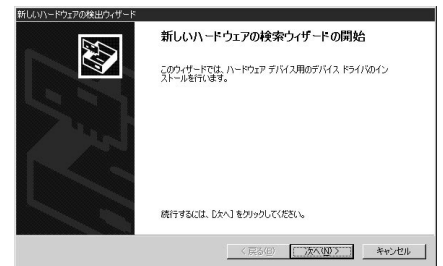
■ Windows 2000の場合

- 1.パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2.本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ差し込みます。
- 3.新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されますので、「次へ>」をクリックします。

- 4.「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ>」をクリックします(本製品の場合、右記USB CameraはUSBデバイスと表示されます)。

- 5.「場所の指定」を選択し、「次へ>」をクリックします。

- 6.付属CD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。「参照」をクリックし、CD-ROMドライブのD:¥Driverディレクトリを選択して「OK」をクリックします(DドライブがCD-ROMドライブの場合)。



7.ドライバファイルの検索で、このままドライバをインストールする場合は、「次へ>」をクリックしてください。

※インストール中に下記のメッセージが表示される場合がありますが、「続行」をクリックしてインストールを継続してください。
「このハードウェア: CMOS FingerPrint Reader を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換を検証するWindowsロゴテストに合格していません。」



8.Windowsが「CMOS FingerPrint Reader」と認識しますので、「完了」をクリックして、インストールを完了します。

※本製品を認識しない場合は、パソコンのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そして、マイコンピュータ→プロパティ→デバイスマネージャ→USBコントローラの中の「CMOS FingerPrint Reader」に「！」マークがついていないかどうかを確認してください。

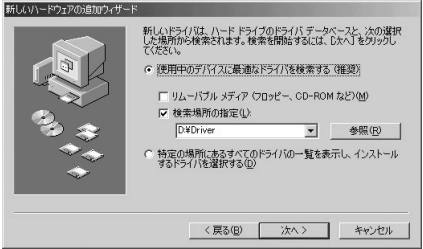


■ Windows Meの場合

- 1.パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2.本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ差し込みます。
- 3.新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されますので、「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、「次へ>」をクリックします(本製品の場合、右記USB CameraはUSBデバイスと表示されます)。



- 4.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、付属CD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。「検索場所の指定」を選択して、「参照」をクリックします。CD-ROMドライブのD:¥Driverディレクトリを選択してから「次へ>」をクリックします(DドライブがCD-ROMドライブの場合)。



5.ドライバファイルの検索で、このままドライバをインストールする場合は、「次へ>」をクリックしてください。



6.Windowsが「CMOS FingerPrint Reader」と認識しますので、「完了」をクリックして、インストールを完了します。



※本製品を認識しない場合は、パソコンのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そして、マイコンピュータ→プロパティ→デバイスマネージャ→USBコントローラの中の「CMOS FingerPrint Reader」に「！」マークがついていないかどうかを確認してください。

■ Windows 98 SEの場合

- 1.パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- 2.本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートへ差し込みます。
- 3.新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されますので、「次へ>」をクリックします（本製品の場合、右記USB CameraはUSBデバイスと表示されます）。



- 4.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ>」をクリックします。



- 5.付属CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。「検索場所の指定」を選択して、「参照」をクリックしてください。CD-ROMドライブのD:¥Driverのディレクトリを選択してから「次へ>」をクリックします（DドライブがCD-ROMドライブの場合）。



- 6.ドライバファイルの検索で、このままドライバをインストールする場合は、「次へ>」をクリックしてください。



- 7.Windowsが“CMOS FingerPrint Reader”と認識しますので、「完了」をクリックして、インストールを完了します。



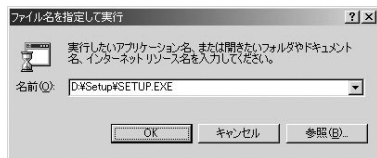
※本製品を認識しない場合は、パソコンのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そして、マイコンプューター→プロパティ→デバイスマネージャー→USBコントローラの中の「CMOS FingerPrint Reader」に「!」マークがついていないかどうかを確認してください。

指紋認証ソフト「バイオガード」のインストール

1. 付属CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。インストーラが自動的に起動しますので、「Install」ボタンをクリックします。



※インストーラが自動的に起動しない場合、スタートメニュー→ファイル名を指定して実行→“D:\Setup\SETUP.EXE”と入力して、「OK」をクリックしてください（CD-ROMドライブがDドライブの場合）。



2. 画面の指示にしたがって、インストールを続行してください。

- 2-1. 「Welcome」→「Next>」をクリック
- 2-2. 「Choose Destination Location」→「Next>」をクリック
- 2-3. 「Select Program Folder」→「Next>」をクリック



3. 左側の言語一覧で適切な使用言語を選択し、右側の接続デバイス一覧からパソコンに接続したデバイスを選択して、「OK」をクリックします。
「Select a language (言語の選択)」で「Japanese (日本語)」を、「Select a device (デバイスの選択)」で「CMOS Device (CMOSデバイス)」を選択してください。



4. インストール中、データ設定画面が表示されますので、名前・パスワードの欄に入力します。

※この名前とパスワード（16桁以下）は、Windowsログオン時と同じものを入力してください。異なっていると、Windowsネットワークにアクセスできない恐れがあります。

※初めて登録されたユーザーは、自動的に管理者になります。



5. 画面左下の「指1」図から任意の指を選択すると、指紋入力画面が表示されます。



6. 選択した指を、マウスの指紋認証部に置きます。指紋を確実に登録するため、入力が3～5回繰り返されます。5回の登録に失敗したら、再度登録することができます。
指紋入力を取り消し、引き続きインストールを進めることもできます（インストール後に登録することが可能です）。
※登録の方法については、15ページをご参照ください。



7. 「指1」の登録が完了すると、今度は右側の「指2」登録画面になります。同様に登録してください。
※指2への登録は必須ではありませんが、指1にケガをしたときなどのため、指2の登録もお勧めします。



8.登録が正常に完了すると、両手の絵の下に指紋の品質が表示されます。
※品質“C”以下は認証されにくい場合があるので、“B”以上になるよう登録し直すことを推奨します。)



9.“Yes, I want to restart my computer now.”にチェックを入れて「OK」をクリックし、パソコンを再起動してください。



※Adobe Reader (Adobe Acrobat Reader) がインストールされていないと、右のメッセージが表示される場合がありますが、「はい (Y)」を選択してください。

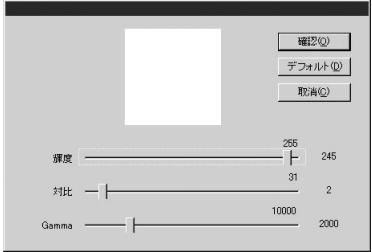


■ 指紋を登録する際に

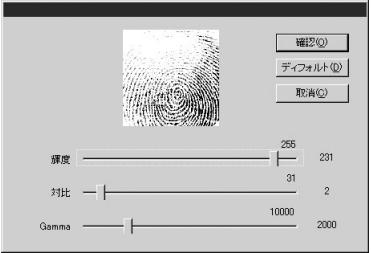
タスクトレイのカギアイコンを右クリックすると、「指紋認証」ウィンドウが表示されます。
指紋認証を確実にするためには、指紋画像を適切に登録しておく必要があります。
「指紋認証」ウィンドウの「画像調整」をクリックしてください。



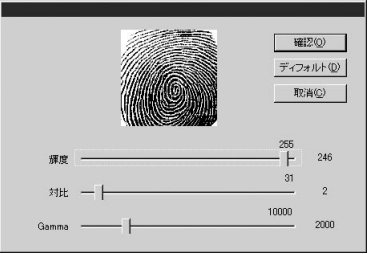
右の画面が表示されます。登録する指を本製品の認証部に置き、画面の画像を見ながら、輝度や対比（明暗のコントラスト）、Gamma（ガンマ）を調節してください。
「確認」をクリックすると、設定が適用されます。
「デフォルト」をクリックすると、初期設定値に戻ります。



指紋画像が薄すぎる例
薄すぎて（明るすぎて）、真っ白になっている部分があります。



指紋画像が適切な状態



指紋画像が濃すぎる例
濃すぎて（暗すぎて）、真っ黒になっている部分があります。



「バイオガード」機能一覧表

データ管理センター	●権限の種類には、以下の2つがあります。 1. ユーザー 自身のパスワードや指紋データを変更できます。また、自身の所属するグループにユーザーアカウントを追加することができます。他人のパスワードや指紋データを変更することはできません。 2. 管理者 ユーザーアカウントの追加・削除、ユーザーデータの参照・変更など、すべてのデータを管理可能です。 ●指紋は、2個まで登録できます。また、最大16桁のパスワードを登録できます。 ●最大100ユーザーのアカウントを登録管理できます。
Windowsログイン	●登録した指紋でログインできます。
スクリーンセーバー	●スクリーンセーバーから通常の画面に復帰するとき、指紋認証を利用することができます。 ●ホットキーで、簡単にスクリーンセーバーを起動できます。
ファイルの暗号化	●バイオガードは、ユーザーごとにそれぞれ専用のキーを作成します。 ●複数のファイルを同時に暗号化できます。フォルダを暗号化する場合、内包するファイルすべてが暗号化されます。 ●暗号化されたファイルは、指紋アイコンで表示されます。ファイルサイズは元のものより少し大きくなります。 ●暗号化されたファイルの復号化(元に戻すこと)は、暗号化をしたユーザーのみ可能です。また、ユーザーが所属するグループのファイルも復号化できます。所属グループ以外のユーザー(管理者も含む)は、復号化することはできません。
グループ機能	●ユーザーは、いずれかのグループに所属します。ファイルを暗号化したユーザーは、所属グループの他のユーザーに、ファイルを復号化する権限を与えることができます。
使用時間の制限	●ユーザーは、パソコンの累計使用時間を制限できます。指定した時間を使い切ると、パソコンをシャットダウンさせることができます。
その他	●ログファイルに、最大30,000個の操作記録を保存できます。ログイン・新規登録・削除・暗号化・復号化など、すべてのアクションが記録されます。

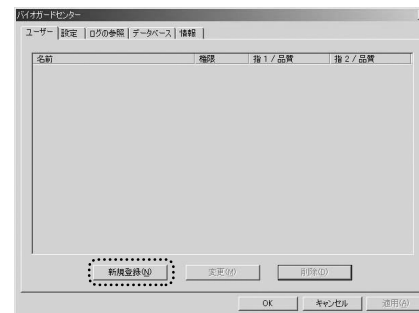
「バイオガード」の使い方

スタートメニュー→プログラム→BioGuardからバイオガードセンターを選択、またはデスクトップにあるショートカットアイコンをダブルクリックすると、バイオガードが起動して指紋認証画面が表示されます。登録した指をマウスの指紋認証部に置いてください。認証に成功すると、バイオガードセンターの画面になります。



■ ユーザーの新規登録

1. バイオガードを起動して初めてユーザーを登録するとき、右の指紋管理センター画面が表示されます。「新規登録」をクリックして、ユーザーを登録してください。



2. 「データ設定」画面が表示されますので、ユーザーの名前・パスワードおよび管理者権限の設定などを入力します。Windows XPおよびWindows 2000の場合は、さらに「グループ」をクリックして、名前の一覧からユーザーを選択できます。

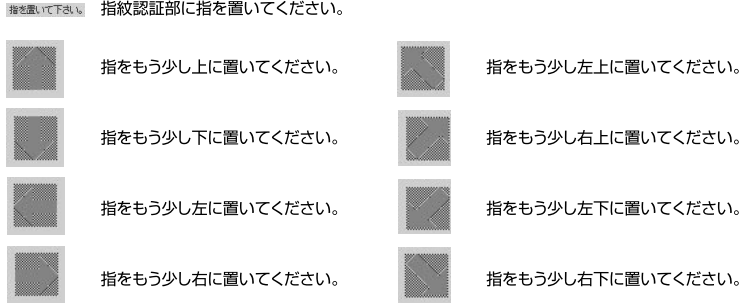


3. 左側の「指1」から任意の指を選択すると、指紋入力画面が現れますので、選択した指をマウスの指紋認証部に置いてください。指紋を確実に登録するため、入力が3〜5回繰り返されます。5回の登録に失敗したら、再度登録することができます。



◆ 指紋の登録方法

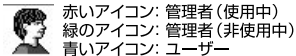
- 指は、マウスの指紋認証部に水平に置きます。押しつけたりせず、軽く置いてください。
- 指紋画像がキャプチャー（取り込み）されたら、いったん指を離してください。2〜3秒後、再び指紋認証部に指を置いてください。
- 指が乾燥している場合、少し湿らせた布で指を拭いてみてください。
- 指、もしくは指紋認証部が濡れている場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 画面の「状態」欄に、指の状態や指示などを表示します。詳細は以下の通りです。



4. 指紋の登録に失敗しても、再度登録することができます。登録が正常に完了すると、両手の絵の下に指紋品質が表示されます。
※品質“C”以下の場合は認証しにくい場合があるので、“B”以上になるよう登録し直すことを推奨します。)
5. 「確認」をクリックして登録を終了するか、引き続き同様に“指2”の登録をおこなってください。
※必須ではありませんが、指1にケガをしたときなどのため、指2の登録もお薦めします。
6. また、画面右側で「認証レベル」を設定できます。
※認証レベルについてはFAQ (29ページ) をご参照ください。

7. 登録が完了すると、ユーザ一覧に新しいユーザが表示されます。ユーザの権限（種別）や、登録指紋の種類・品質なども表示されます。
- ※初めて登録したユーザは、自動的に管理者になります。追加で登録する際、その人も管理者に設定する場合は、「新規登録」のとき「☐管理者」にチェックマーク（☒）を入れてから登録してください。

アイコンの意味は下記の通りです。



■ ユーザーの登録データ変更

登録データ（指紋及びパスワード）はユーザー自身のみ変更できます。管理者は自身および管理下にあるユーザーの登録データ参照と権限変更が可能です。他の管理者およびその管理下にあるユーザーのデータは変更できません。

- 指紋データを変更する: 「変更」ボタンをクリックして、登録する指を変更できます。
- パスワードを変更する: 「変更」ボタンをクリックして、パスワードを変更できます。
- 権限を変更する: 管理者であれば、自身や管理下にあるユーザーの設定を変更できます。他の管理者の管理下にある設定は変更できません。
- 認証レベルを変更する: 認証レベルは4段階あります。用途に応じて選択してください。
※認証レベルについてはFAQ (29ページ) をご参照ください。



■ ユーザーの削除

ユーザは、自身のデータを削除することができます。管理者も同じく、自身や管理下にあるユーザーのデータを削除することができますが、他の管理者やその管理下にあるユーザーのデータを削除することはできません。

- 「削除」をクリックすると、次の確認メッセージが表示されます。
- いったんユーザーを削除すると、そのユーザーを復活させることは不可能です。特に、そのユーザーが暗号化したファイルが残っていないか、よく確認したうえで削除してください。復号化も不可能になります。



■ グループについて

ユーザーは、必ずいずれか「グループ」に所属します。このグループ内のユーザーは該当グループ管理者によって暗号化されたファイルを開く権限があります。

【例】
Testというユーザーを設定してみます。ユーザーTestはグループの管理者なので、このグループに新規ユーザーを登録したり、またグループからユーザーを削除したりする権限を持ちます。

上位管理者といえども、このグループの管理をする権限を持ちません。ただし、上位管理者は、管理者を含めてそのグループ全体を削除することは可能です。

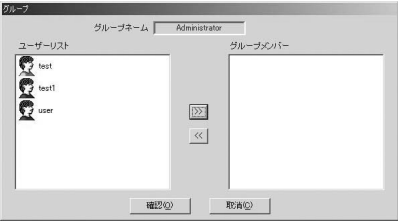
1. ユーザーを選択して、「変更」をクリックします。



2. 「データ設定」画面で、「グループ」をクリックしてください。



3. 「グループ」画面が表示されます。左側の「ユーザーリスト」はグループに加入できるユーザーの一覧で、右側の「グループメンバー」はメンバーの一覧です。真中の「>>」と「<<」ボタンでユーザーを加えたり削除したりできます。



■ パソコン使用時間の制限

管理者は、ユーザーのパソコン累計使用時間を制御することができます。累計の期間は24時間です。

1. ユーザーを選択して、「変更」をクリックします。



2. 「時間制限」をクリックしてください。



3. 「時間制限」にチェックを入れて、任意の時間を設定します。1時間未満に設定する場合は、「時」欄を空欄にせず「00」を設定してください。



4. 指紋認証が終わった後、画面の右上にカウントダウン用の小さなウインドウが表示されます。残り時間が3分を下回ると、警告のメッセージが表示されます。



※管理者のみ、カウントダウンをキャンセルすることができます。



タスクトレイのカギアイコン(を右クリック)からも「時間制限」を設定できますが、これはバイオガードから設定した項目とは少し異なり、現在登録している管理者とユーザーのみを制限します。また、ユーザーでもカウントダウンのキャンセルが可能です。

■「設定」タブ

「設定」タブで、バイオガードのさまざまな機能を設定することができます。



◆機能

ログイン：
Windowsログイン時に、通常のパスワード入力ではなく、指紋認証を利用できるようにします。

スクリーンセーバー：
スクリーンセーバーからの復帰時に、通常のパスワード入力ではなく、指紋認証を利用できるようにします。

ファイルセキュリティ：
ファイルの暗号化/復号化を可能にします。

◆認証

管理者は、認証の方法を選択することができます。「指紋のみ」または「指紋及びパスワード」にしていると、万一指紋認証マウスにトラブルがあったとき認証が不可能になりますので、「指紋またはパスワード」にしておくことをお勧めします。

◆デバイス

本製品の場合、一番上の CMOS Device を選択しておいてください。

◆言語

使用する言語を選択しておいてください。設定を変更すると、再起動を促すメッセージが表示されます。再起動後、設定した言語を使用可能になります。

◆認証回数

たとえば「2」に設定すると、認証に2回失敗すると、認証画面が消えます。再度操作をやり直してください。認証回数は、2～99回まで設定できます。

◆画像調整

指紋登録時の画像を調整できます。設定の方法は、11～12ページの「指紋を登録する際に」をご覧ください。

■「ログの参照」タブ

バイオガードに登録されたユーザーのデータを参照できます。



■「データベース」タブ

ユーザーのデータをバックアップしたり回復させたりすることができます。以下、手順を説明します。

1. 「バックアップ」をクリックし、バックアップファイルの保存場所を指定します。
2. バックアップしたいユーザーのアイコンを選択して「>>」をクリックします。
3. データを回復させたい場合は、「回復」をクリックし、データベースファイル (*.DBF)を開いてください。



■「情報」タブ

製品情報などを参照できます。

認証について

認証とは、指紋やパスワードを通してユーザーの正否を判定することを言います。「指紋管理センター」「ファイルの暗号化・復号化」「Windowログイン」「スクリーンセーバー」「アンインストール」などの機能を実行する際、認証を必要とします。

本製品をパソコンに接続して認証を利用すると、指紋認証を利用できます。
※本製品をパソコンに接続しない場合は、通常のパスワード認証をおこないます。



Windowsログイン

本製品を使用すると、従来のパスワード認証が不要になります。ユーザーは指紋だけで簡単にログインすることができます。ログインの方法は、Windowsのバージョンによって異なります。Windows XP・2000の場合、パソコンがドメインに属していると、ユーザーはドメインあるいはローカルコンピュータのいずれかを選択して登録することができます。

※「指紋管理センター」のパスワードは、必ずWindowsログイン時もしくはネットワークログイン時と同一のものを使用してください。また、スタートメニュー→コントロールパネル→パスワードでパスワードを変更すると、「指紋管理センター」のパスワードも同時に変更されます。

指紋認証画面のまましばらく放置すると、省電力のため指紋認証部のランプが消えてログインできなくなります。この場合は、指紋認証画面の「再試行」をクリックしてください。



スクリーンセーバー

本製品には、指紋認証を利用してコンピュータをロックするスクリーンセーバー機能があります。

1. デスクトップを右クリックするなどして、「画面のプロパティ」を開きます。
2. 「スクリーンセーバー」タブを選択し、「スクリーンセーバー」一覧から「BioGuardSaver」を選んでください。
3. 「パスワードによる保護」にチェックを入れます。



4. 「設定」をクリックすると、右の画面が表示されます。
5. 「参照」で、スクリーンセーバーでスライド表示させたい画像データがあるディレクトリを指定できます。また、任意の画像を「追加」と「削除」で加減できます。なお、表示できる画像はJPEGフォーマットです。
6. ディスプレイモードでは、スクリーンセーバーの表示モードを設定できます。「確認」をクリックして画面を閉じます。
7. 「画面のプロパティ」で「OK」をクリックし、指紋管理センターにデータを登録します。下記の警告が表示される場合がありますが、「OK」をクリックしてください。



ファイルセキュリティ

バイオガードには、安全性の高いファイルセキュリティ機能があります。暗号化されたファイルは、暗号化をおこなったユーザーのみが復号化できます。**そのユーザーの登録が削除されると、暗号化されたファイルは永久に復号化できません。**

※グループ暗号化ファイルは、権限を与えられたユーザーであれば復号化できます。

■ 暗号化の方法（同じ場所で暗号化：ファイル/フォルダともに可能）

1. エクスプローラを開き、暗号化したいファイルやフォルダを右クリックしてください。「バイオガード暗号化」を選択すると、暗号化が実行されます。



2. 暗号化が完了すると、暗号化されたファイルの拡張子が「.SMZ」、種類が「BioGuard Encrypted File」になり、アイコンも変わります。

※ショートカットアイコンのファイルは暗号化できません。

名前	サイズ	種類
FingerPrintpt	2,370 KB	BioGuard Encrypted...
qsl.exe	319 KB	BioGuard Encrypted...
run.bat	2 KB	BioGuard Encrypted...
test.bat	2 KB	BioGuard Encrypted...
test.DBF	3 KB	BioGuard Encrypted...

■ 暗号化の方法（指定した場所へ暗号化：ファイルのみ可能）

1. エクスプローラを開いて暗号化したいファイルを右クリックし、「...へ暗号化」を選択してください。

※フォルダの指定はできません。



2. 暗号化ファイルの保存先を指定し、「OK」をクリックしてください。暗号化が実行されます。

■ 復号化の方法（同じ場所で復号化）

1. 復号化したいファイルを右クリックし、「バイオガード復号化」を選択してください。

2. 指紋認証画面が表示されます。



3. 認証に成功すると、復号化が開始されます。

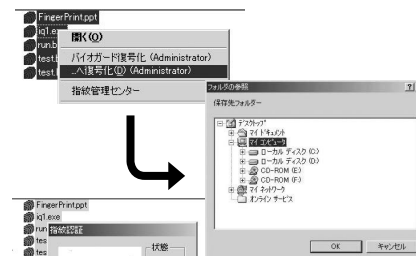


■ 復号化の方法（指定した場所へ復号化）

1. 復号化したいファイルを右クリックし、「...へ復号化」を選択してください。

2. 復号化ファイルの保存場所を指定し、「OK」をクリックします。

3. 指紋認証画面が表示されます。



4. 認証に成功すると、復号化が開始されます。

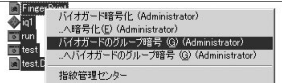


■ 暗号化したファイルを直接開く

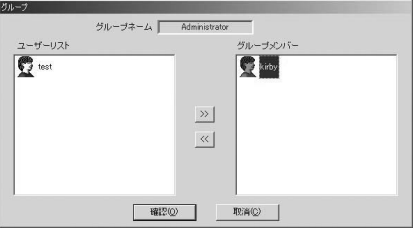
暗号化されたファイルを右クリックし「開く」を選択、あるいはダブルクリックしてください。指紋認証画面が表示され、認証に成功すると、通常と全く同じように該当アプリケーションが起動し、ファイルが開かれます。

■ グループ暗号化/復号化の方法

- 1.暗号化したいファイルやフォルダを右クリックしてください。「バイオガードグループ暗号化」を選択すると、「グループ」画面が表示されます。
※通常の暗号化と同じく、「...へバイオガードグループ暗号化」を選択するとファイル保存場所の指定画面が表示されますので、適宜指示してください。



- 2.ファイルを復号化できるユーザーを、グループメンバーに追加/削除できます。「>>」「<<」で操作してください。



- 3.暗号化が完了すると、暗号化されたファイルの拡張子が「.SMG」、種類が「BioGuard Group Encrypted File」になり、アイコンも変化します。
※ショートカットアイコンのファイルは暗号化できません。

名前	サイズ	種類
PrinterPrint.ppt	2,371 KB	BioGuard Group En...
qi.exe	319 KB	BioGuard Group En...
run.bat	2 KB	BioGuard Group En...
test.bat	2 KB	BioGuard Group En...
test.DBF	4 KB	BioGuard Group En...

- 4.ファイルの復号化や、ファイルを直接開く方法は、24～25ページをご覧ください。ただし、**グループ復号化されたファイルを開く場合は、セキュリティ保護のため指紋認証が受け付けません。パスワードでの認証は不可能です。**

■ グループ暗号の応用：A、B 2台のパソコンがある場合

- 1.指紋管理センター「データベース」の「バックアップ」で、パソコンAの指紋アカウントデータをバックアップします。
- 2.電子メールに添付して、このバックアップファイルをパソコンBへ送信します。
- 3.パソコンBで、受信したファイルを指紋管理センター「データベース」の「バックアップ」で回復させます。
- 4.以後、パソコンAとBでは、グループ暗号化されたファイルを安全に送受信することができます。

■ 「バイオガード」のアンインストール

スタートメニュー→プログラム→BioGuard→Uninstall BioGuardを選択してください。指紋もしくはパスワードの認証後、アンインストールが実行されます。



「現在のユーザーデータを保留しますか」というメッセージが表示されますので、適宜選択してください。



再起動すると、アンインストール完了です。

タスクトレイアイコンの機能

バイオガードをインストールすると、タスクトレイに鍵のアイコンが表示されるようになります。ここから、便利な機能を簡単に呼び出すことができます。

鍵のアイコンを右クリックすると、右のようなメニューがあらわれます。

設定

指紋管理センターを開きます（鍵アイコンのダブルクリックでも同様に開きます）。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを起動します（ホットキーでも起動可能です）。

ホットキー

スクリーンセーバーをワンタッチで起動するためのホットキーを設定できます。初期設定は「Alt」＋「F1」です。

時間制限

パソコンの使用累計時間を設定し、予定時間にパソコンをシャットダウンさせることができます。以下、詳説します。

情報

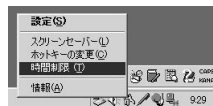
製品情報などを参照できます。



パソコン使用時間の制限

ユーザーは、「パソコン使用時間の制限」を設定することができます。パソコンの使用累計時間を設定し、予定した時間がきたら自動的にパソコンをシャットダウンさせる機能です。

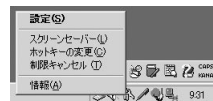
1.タスクトレイの鍵アイコンを右クリックし、「時間制限」を選択します。



2.任意の時間を設定します。1時間未満に設定する場合は、「時」欄を空欄にせず「00」を設定してください。



3.「時間制限」を実行後にキャンセルする場合は、タスクトレイの鍵アイコンを右クリックして「制限キャンセル」を選択します。



4.指紋認証画面が表示されます。



5.認証に成功すると、「時間制限」画面が表示されますので、「制限キャンセル」をクリックしてください。



なお、制限時間を3分以上に設定していた場合、残り時間が3分を切ると、右のような警告が表示されます。
すみやかに使用中のアプリケーション・ファイルを終了してください。
そのままにしておくと、保存されない状態でパソコンがシャットダウンされます。



Q:システムが指紋認識マウスを認識しない。抜き差しを繰り返してみても状況は変わらず。

A:指紋認識マウスをもう一度抜き差ししたうえで、ドライバを再インストールしてみてください。

Q:登録した指紋の品質が悪いので再登録したい。“指1”
 だけしか登録しなかったのて“指2” も登録したい。

A:バイオガードを実行して指紋認証を済ませると、指紋管理センターの画面が表示されます。ここで「変更」をクリックすると、「データ設定」画面が表示されますので、再登録や追加登録が可能です。

Q:指紋は登録できたが、その後、認証に成功しない。

A:指が乾燥しすぎていると失敗しやすくなります。湿った布で、ほんの少しだけ指を拭いてみてください。
 または、認証レベルの設定を下げてください。

認証レベル	誤認の確率（False Accept Rate）
高	1/100,000
中高	1/10,000
中	1/1,000
低	1/300

ただし、認証レベルを下げすぎると、他人の指紋でも認証されてしまう確率が上がります。

安全性と利便性は表裏一体です。場合に応じて、適宜認証レベルを設定し直してください。